

# 学習実践ニュースレター

サンプル 特別号 「勉強するのがクセになる」塾



仲町台校 045-941-1101

## 感動したお話なーに！

今まで、

- 読んだ本。
- 見た映画、テレビドラマ。
- 人から聞いた話。

などで、心を打たれて、感動したものを思い出してほしい。

必ず一つや二つはあるだろう。

そして、ストーリーと主人公を思い出してほしい。

あなたが思い出した、主人公をもう一度よく観察してみてください。

思い出した主人公が、毎日毎日遊んでいながら、好きなことばかりやっていて、何の困難もなく、いつの間にか大金持ちになってしまった。っていうものあったかな？

ないはずだ。

思い出した主人公は苦労しながら困難を乗り越えて、成功したはずだ。

苦難を乗り越え、成功したところに感動したはずだ。

例えば、私は

山本玄峰老師（1866～1961）

の生き方に感動を覚えた。

山本玄峰<sup>げんぼう</sup>老師（1866～1961）

荒れ果てた、たくさんの寺院を再建し、禅風を高揚し、「白隠禅師の再来」「最後の禅僧」と呼ばれた禅僧。

若い頃、木こり、筏<sup>いかだ</sup>流しなどの仕事をしてきた。そのうち目の病気に罹って19歳のとき失明の危機。

現代ならば、治ったような病気でも、明治が始まってすぐのころだ。

医者もいなければ、

薬もなかった。

そうすると頼むところは、神様仏様しかなかったんだね。

裸足で何度も四国霊場（八十八カ所）を巡礼して回った。食べるものもろくに食わず、夜は野宿をして、お寺を回って歩いた。当然ながら体はだんだん弱ってくる。

それでも、目の病気が治って、ものがはっきり見えることを祈りながら歩き続けた。

たぶん、絶対絶対あきらめない気持ちでね。

ひたすら歩き続けた。

しかし、途中、とうとう体力の限界が来てしまった。道端に行き倒れになってしまった。行き倒れているところを、雪蹊寺というお寺の太玄和尚に助けられた。

このとき、太玄和尚から、

「目が見えなくなっても、心の目は見えなくなる。人の心を見つめる目を

「養えばよい」教わった。

この言葉で、自分の生きる道を見つけた玄峰さん。その後必死に修行を積んで、立派なお坊さんになった。

終戦時の総理大臣 鈴木貫太郎や、吉田茂、池田勇人 両総理大臣など日本の政治の中枢を担う人達も山本玄峰の助言を求めて、しばしば訪れるほどの立派なお坊さんだったんだ。

どうだい、自分の感動したストーリーと比べてみてほしい。

困難を乗り越えて、成功していくってことで、同じようなものじゃないか？

平成 13 年の夏場所で、横綱 貴乃花が、足に怪我をしながらも、必死の形相で、最後の優勝（22 回目）をしたとき、

小泉首相は表彰式に出席し、

**「痛みに耐えて良くがんばった。感動した。おめでとう。」**

って、大きな声で言っていた。

困難を乗り越えていくところに、人は感動するのだ。

しかし、他人の困難を乗り越えるサクセスストーリーには、感動を覚えるのに、自分の身にふりかかる困難を、通常の人には極端に嫌う。

あなたは、どうだい？

自分のことをよく観察してほしい。

自分の困難は、いやだという気持ちが強いんじゃないかな。

しかしナ～、よ～～く考えてみてくれ。

他人が必死にもがき苦しみながら、困難を乗り越える姿を見て、感動するあなたが、自分の

困難を嫌っていても矛盾するんじゃないか？  
(矛盾：つじつまが合わないこと。物事の道理が一貫しないこと。)

今、困難の真っ只中のあなた。

もしくは、

これから確実に困難がやってくるあなた。

その困難は、あなたをもう一步上に押し上げてくれるものだと考えないか？

そして、上のステージに上がったときに、他の人を感動させることができるし、強くなれるし、やさしくなれる。

困難がやってくるのは、避けられない必然。どんなに偉い立場の人だって、どんな大金持ちだって、必ずやって来る。

だから、困難は逃げずに、ぶつかって行こうじゃないか。

正々堂々と、ぶつかって、ぶつかって、そこを乗り越えていこうぜ。

そして、乗り越えたときに、あなたもヒーロー（ヒロイン）になれる。

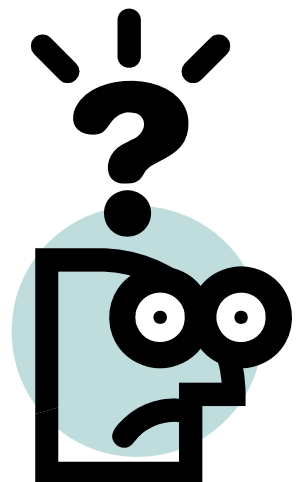
絶対、絶対、あきらめるな！

## どうして勉強するの？

多くの場面で、先生が聞かれる質問だね。

学習する意味については、学校の先生も親もいろいろな場面で、あなたに話していると思う。

しかし、どうもスッキリ納得できないよね。



確かに勉強しなければいけないってことは、わかるような気がするけどね。

私は、数学が専門なので数学の教師の立場として言っておこう。

まあ、数学・算数の題材を扱うが、あらゆる教科に共通していえることだ。一言で言えば、

「絶対、絶対、あきらめない」  
ためなんだ。

多くの学校の先生は、「物事を順序良く考えて、筋道を立てて考える能力を養うため。」って答えていると思う。

でもね、それはね、学校の先生になったときに、新任の先生に研修が行われるんだけど、その研修で習うからなんだ。私も、新人のころは習ったとおりに答えていた。

しかし、数学を筋道立てて、考えられるのは、自分にとってよほど簡単な、内容だけ。

例えば小学2年生のかけざんを使った問題。

「6人が両手に、みかんを持っています。みかんの数は全部でいくつでしょう」

3年生以上の、多くの生徒は、  
 $2 \times 6 = 12$  (こ)  
と答える。

このようにすぐに答えらるものは、自分にとって簡単だからだね。

ややこしくなってくるとそうはいかない。

- こうやればいいかな。
  - ああやっとうまくいくな。
  - もしかして、これじゃあ駄目かな。
- このようなことを、たくさん考えながら、少

しずつ正解に近づいていくのだ。

こうやって、絶対絶対あきらめないで物事に対処する事が大事なんだ。

どうして勉強するの？って聞かれたら私は次のように答えているんだ。

絶対絶対あきらめないため。

これからあなたが生きていく中で、とてつもない難題がたくさん降りかかってくる。何をどうしたらいいかわからなくなるときもあるだろう。そんなとき、もう自分にはこれ以上どうしようもないって、あきらめないで、いま自分の使えるものから、次の一手を力をしぼりながら見つけ出す、練習をしているんだ。

ドロ臭くてけっこう、自分の知っている知識をフル動員させて、解答にいたることをやりぬくのだ。

これこそが、算数・数学を勉強する目的なんだ。(他の教科もほとんど同じ)

絶対絶対あきらめずにいると、いつか必ず自分の中に、はじけるように答えが出てくる。

一瞬にして風景が変わる。

「国境の長いトンネルを抜けるとそこは雪国だった。」ように。

困難を、乗り越えることを、勉強の中で勉強するのだ。

## 問題は最大のヒントなり

算数や、数学の問題が解けない、と言ってやってくる生徒の約半数は、問題を正確に読み取っていない。

例えば、

## 22÷3

を、商は小数第一位の位までの、概数にして答えよ。

なのに、

「先生、割り切れない。」って持ってくる。

そんな時、私は

「問題文をもう一度読んでみて」と答えてあげる。

すると、

「あ～、そうか。」と気がついて、正しい答えを出すことができる生徒の、なんと多いことか。

いいか、よーく聞いてくれ。

**算数、数学に限らず問題文というのは、キミが答えるための最大のヒントなんだぞ。**

そのヒントをしっかりと読み取らずに、

「わからない」

と、言うてはいけない。

## 読書百遍 義 自ら見る

を、しっかり実践してほしい。

読み方は、

どくしょひゃっぺん ぎ おのずからあらわる

と読むぞ。

意味は、

どんなに難しい書でも何度も繰り返し読めば、意味が自然に明らかになる。熟読の必要を説いた言葉。

広辞苑より

中国の古い書物の「<sup>さんごくし</sup>三国志」の中の「<sup>ぎし</sup>魏志」に書かれている言葉だ。

先生のところに来て、質問するときには、問題を見なくても、すらすらと説明できるようにしておくことは、最低条件だ。

勉強が上手にできるようになる人は必ず実践している。アナタも、勉強できる人の方法をマネよう。

# そ れに気がついた生徒

苗川 莉子 さん (中学1年)

先月号のリョージの妹だ。

2ヶ月続けて、苗川家をニューズレターの題材にさせていただく。

苗川家、波に乗ってるねー。

午後7時半からの

授業にやってきたリコが

宿題を出しながら、開口1番

「先生、ちゃんと読んでやれば分かるよ。友達がマンガを読んでいたとき、私はわからなかった問題、いっしょうけんめい読んだんだ。そしたら、ちゃんと書いてあるじゃん。問題をちゃんと読めばいいんだよねー。」

明るい表情で、まくし立てた。

宿題になっていた問題は、前回の授業ではよく分からず不正解を連発したところだった。

通常、私を含めベスト塾のスタッフは、授業でまったく理解できないものを、宿題にはしない。授業でわからないものを、持ち帰って宿題にしても、家で

「わからない、わからない、わからないー」

の連発になっちゃうものね。

親子ゲンカ、種になりかねない。

リコについても、同様に理解不足のものは、宿題にしないのが原則だった。

しかし、今回の「よーく読めばわかった。」って言うものについては、リコが自らもう一度考え直したいと、申告して宿題にしたものだった。

6年生の後半から、意欲的に学習に取り組んできているリコだから、何とかするかもしれない。もしダメだったら、次回私がゆっくり、かみ砕いて説明すればいいや。

そう思いながら宿題にした。

しかし、リコは自分の力で克服した。

理解不足の内容を、自力で解決できた。

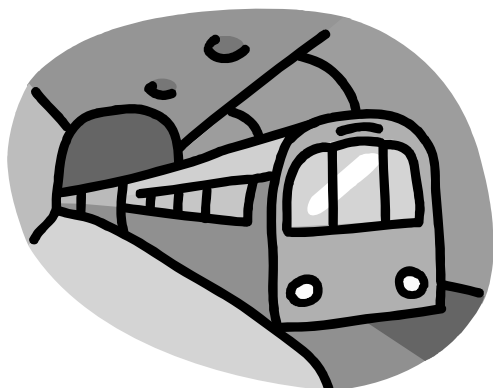
よかったねー。

それと同時に、もっと大切なことに気がついてくれた。

**問題は、最大のヒントなり。**

って事にね。

## 地下鉄で学割定期券



週3回以上、地下鉄を使って通塾している人へ、朗報です。

今年の4月から、市営地下鉄で学習塾への通塾も、学割定期が使えるようになりました。

通常料金 片道 200円

の1ヶ月定期代が

4,800円になる。

つまり、

往復で400円かかるところの区間が、

定期代4,800円で乗り放題だ。

$4800 \div 400 = 12$  (日間)

1ヶ月を4週と考えれば、

1週間当たり3日間使用すれば、元が取れる。

**これは画期的なことです。**

通常、通学定期は、法律に定められた正式な学校と学校法人格を持っている、大手の大学受験予備校しか適用が無かった。

日能研のような大きな規模の学習塾でも、学割は適用がなかった。

しかし、今回は学習塾であれば、適用が受けられる。

**週3回以上通塾の人は、**

**要 検討。**

横浜市営バスも地下鉄同様、学習塾通塾のための学割定期を発行してくれるが、こちらは地下鉄に比べ割引率が少ない。

よく料金を計算して、お得だったら購入してください。

学割購入のための、証明書は塾で発行してあげますので、必要な方はお申し出ください。